

250730 カムチャッカ半島付近 M8.8 大地震について （その2）



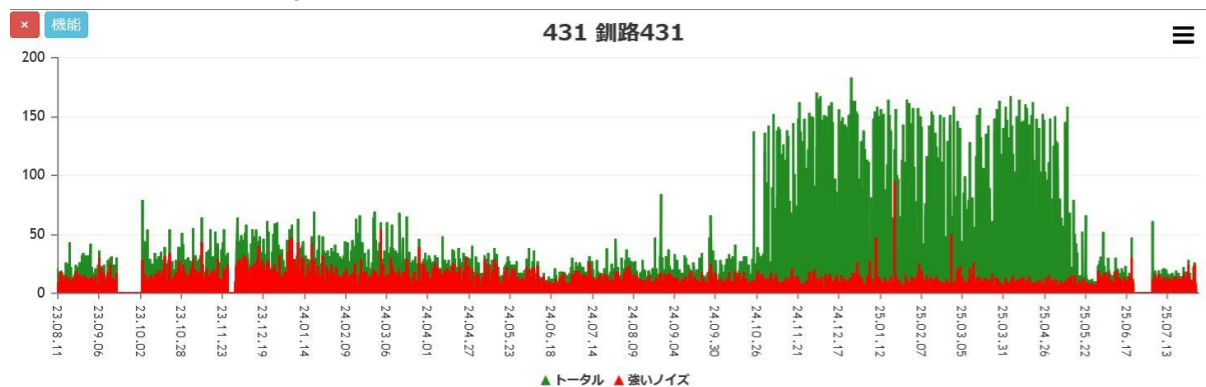
2025 年 7 月 30 日に発生したカムチャッカ半島付近 M8.8 大地震により日本列島全域に津波が押し寄せました。ここで北海道の観測点で、何らかの前兆がなかったか？を逆ラジオのデータで検証してみます。

まず、約 1 年間の、非常にきれいな山を作って減衰してきた【小樽 531】と、緑の 1 本立ちが長期に渡り多数出ていた、【釧路】のデータを、あえて 720 日（2 年）間にしてみたところ、【小樽 531】の赤い山と【釧路】の緑の 1 本立ちの集合が 2024 年 9 月頃から始まり、2025 年 6 月頃まで続いており両者はほぼ同時期になっていました。

【小樽 531】 720 日（2 年）間データ（日毎）



【釧路】 720 日（2 年）間データ



位置関係

【小樽 531】観測点の位置と【釧路】観測点の位置は、離れており、また、赤い山と緑の 1 本立ちの集合、というデータの出方の違いがありながら、両者が同時期に異常データを出している事は、なんらかの同じ現象を捉えている、とも考えられます。



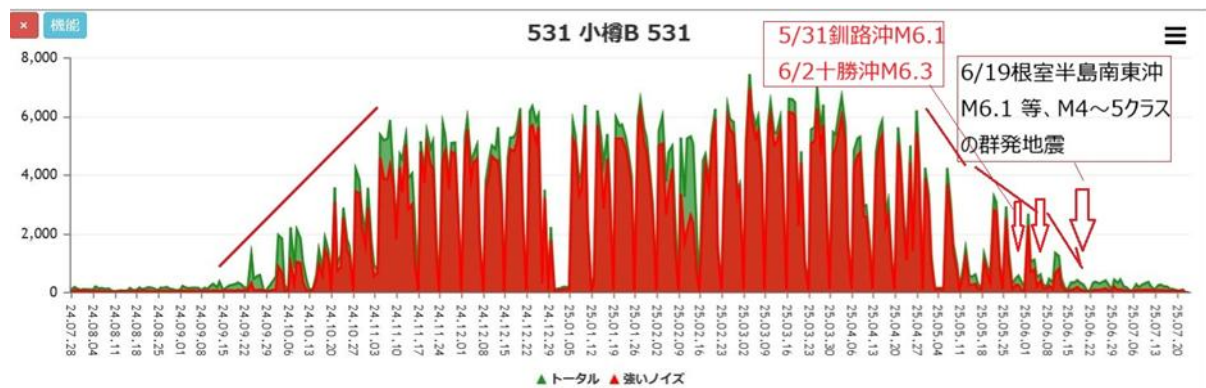
7/30 カムチャッカ半島付近 M8.8 と津波警報



発生時刻	2025年7月30日 8時25分ごろ
震源地	カムチャッカ半島付近
最大震度	2
マグニチュード	8.7
深さ	---
緯度/経度	北緯52.2度/東経160.0度



そして【小樽 531】観測点、【釧路】観測点共に、2025 年 5 月頃から減衰してきます。わかりやすい【小樽 531】観測点のデータでは 5 月～6 月にかけて M6 クラスの地震がいくつか発生しています。



しかし【小樽 531】観測点のデータはその後反転、上昇せず、さらに減衰していき、7/20 にはカムチャッカ半島付近で M7.0 と M7.5 の大地震が発生しています。



この、7/20 のカムチャッカ半島付近 M7.0 と M7.5 の大地震が発生した後もデータは反転、上昇せず、さらに減衰が続きます。



そこで再度、大きな地震に注意と考えた所、7/30 カムチャッカ半島付近 M8.8 の巨大地震が発生しました。

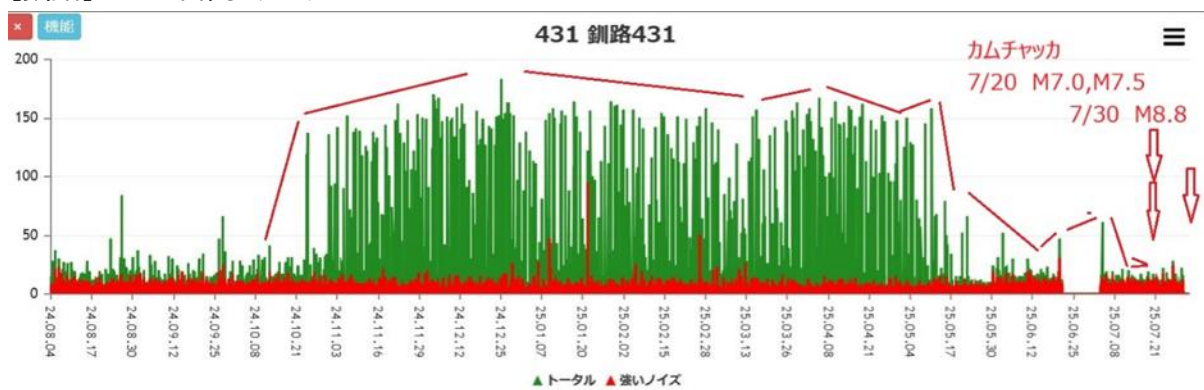


7/30 カムチャッカ半島付近 M8.8

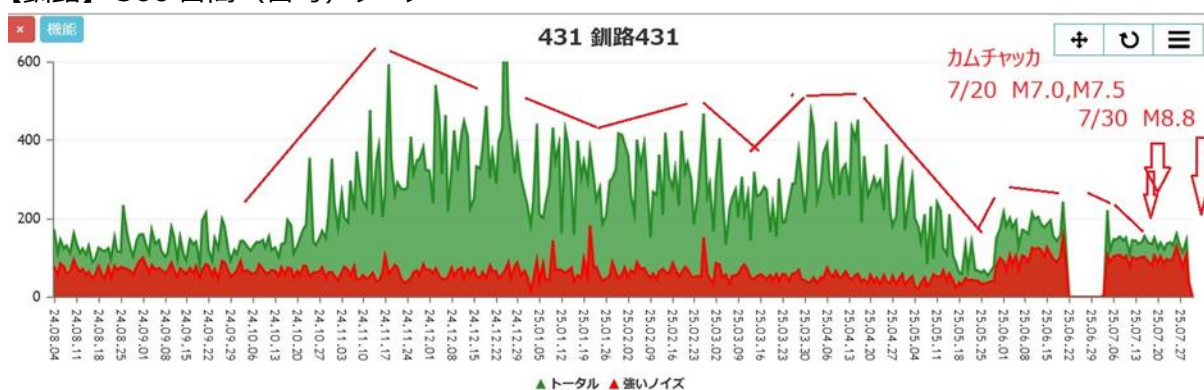


また【釧路】のデータについて 360 日間データでも約 1 年間の異常の後、地震発生になっています。

【釧路】360 日間 データ



【釧路】360 日間（日毎）データ



まとめ：以上の事からも、【小樽 531】と【釧路】の両観測点が 7/30 カムチャッカ半島付近 M8.8 の前兆データを捉えていた、とは言えないが、何らかの関連する異常なデータが出ていた事は明らかであり、今後の地震予知の 1 つの有効な事例と考えます。